

# 求める会ニューズ No. 985

## 3月全体会報告

3月17日(水) 10:30~12:30

### 〈検討事項〉

#### 1、会のこれからについて

- ・橋本さんとの話し合い  
橋本さんは提携を社会運動と捉える考えであしの会と提携の形での配送希望です。コープ自然派への出荷では一束定額100円、多品目を半年位実行してきた。この形で求める会の出荷をしたい。大、中、小を考えているが、大きい物の扱いやあしの会との配送の話し合いもあり、もう少し詰めていきたい。(3面に記事掲載)
- ・一色さんは野菜のみで卵は扱っていないので、会員の要望を聞いてみて、橋本、一色さんの振り分けを考えたい。
- ・卵のみの希望の場合は足立さんのものになる。
- ・一色さんの野菜は午前中に配送、8~10品目、毎週か隔週配送、宅急便になる。
- ・ニュース5月号で、求める会解散後、共同購入してきた物品の今後の購入方法をお知らせする。
- ・あしの会との話し合い: 3月25日予定。

#### 2、総会について

- ・日時: 2021年5月19日(水)
- センター新会場で会員のみで行う予定。
- 書面総会にするかどうかは事務局に一任された。

#### 3、2020年度活動報告案検討

- 活動計画、予算、決算は5月中に作成。
- ・大豆畑トラスト: とても大切な運動なので求める会終了以降は扱っている会で加入して欲しい。(あしの会、コープ自然派、よつ葉の会など)

### 〈報告事項〉

- ① 活動部各担当から  
【生産者担当】

#### ・野菜

##### \*畑の様子

そろそろ野菜の種類が少なくなってきました。里芋は今週配送で終わりです。ほうれん草、葱、分葱、人参などはかなりの量があり端境期はどうなるか未定。

去年の暮れのキャベツの痛み: 低温度が続くと中のほうが凍ってそのような状態になったと思われる。

##### \*卵

ヒナが産み出してやっと大きさが整いつつあります。順調に成長しています。

##### \*果物

雑柑、配送中

##### 【会員担当】

- ・会員数197名
- ・「おいしいね!」が育てる元気」シリーズVのみそ作り: 2月16日に持ち帰りにした。今年で終了。(詳細は3面に)

##### 【事業部担当】

- ・全体会後の豆腐、干物、まるめろの食品は販売する。中元、歳暮、渡辺水産の定期配送は続ける。

##### 【渉外担当】

- ・兵庫県学校食育研究会: 3月26日(金)
- ・4月の食料環境セミナーはありません。

#### ② 実務部から

共同購入会計: 差し引き230万円の赤字で支払いのため貯金を使いたい。  
会員は購入品の入金をお願いします。

#### ③ その他

事務所整理をしています。「ゆうきすと」「ニュース合本」が事務室にありますのでご自由にお持ち帰りください。

##### 〈お知らせ〉

- ・全体会は、10:30~12:00になります。
- ・4月全体会: 4月21日(水) 予定

## 食料環境セミナー報告

2021年2月24日（水）10：30～12：00  
「食べ物が劣化する日本一命をつむぐ  
種子と安心な食を次世代へ」  
食政策センター・ビジョン21代表  
安田 節子さん

日本の食べ物の安全は日米関係の中で決まるといっても過言ではない。EUは米国から自立したが、日本は今や米国の言いなりである。実際にどうなっているか。個々に見てみると、

- ・ **種子**⇒農薬メーカーでもある米国のモンサント社が種子の70%以上を握っている。
- ・ **食品添加物**⇒日本は656品目、アメリカは1600品目が認可されていて、輸出増大のために日本の規制を外そうとしている。例えば、米国産牛肉はBSE(狂牛病)の規制が全廃された。また日本が禁止している肥育ホルモン剤は検査のみで通過して入ってくる。それにより、乳がんや生殖系のがんが増えている。飼料添加物もベーコン、ハム、ソーセージはほとんど輸入豚肉が原料で添加物が残留しているのが事実である。アメリカのアグリビジネスは薬漬けの低品質な畜産物の販路は日本市場である。
- ・ **ポストハーベスト農薬**⇒日本は禁止にもかかわらず、実際は牛肉、オレンジの自由化をきっかけに容認した形である。それによって米国産柑橘類は国産の10倍も甘い規制であり、ジャガイモの殺菌剤は国産の20倍に緩和した。
- ・ **遺伝子組み換え**⇒TPP協定により、大豆、トウモロコシ、菜種など輸入が増え、醤油や食用油、コーンフレークなどに使われるが表示はない。遺伝子組み換え作物の安全性が心配であり、殺虫毒素が妊婦の血液から、また女性の膈帯から検出されている。ロシアや、フランスの動物実験ではラットに腫瘍ができた。
- ・ **種子法廃止、種苗法改定**⇒20年12月にすでに改定されてしまった。今後は農家が自家で種を取ることや増殖ができなくなる。これらは企業支配となり、種と農薬をセッ

トで農家や農協に売り、流通、販売まで企業が独占する。(モンサント方式) また種は「F1」で1世代だけのため、毎年買わなければならない。米国はEUには種子も種苗も農家に認めている。

・ **ゲノム編集**⇒遺伝子の特定のところを破壊してそこに意図する遺伝子を入れる。まだ完全な技術ではなく実験の段階であり間違いも多くあるにもかかわらず、筋肉を増量したマッチョな鯛、成長ホルモンを操作したミニブタ、除草剤耐性の菜種、高オレイン酸大豆、高澱粉量のトウモロコシ、ギャバトマト(血圧対策に)など、体への影響も十分にわからないまま流通に乗っているものもある。ゲノム編集を禁止している国もあるが、日本は米国の企画に合わせているため、受け入れる方針をとっている。

・ **米の規格・検査の見直しが進んでいる**⇒目的は輸入を増大させること。輸入米の業者にとって有利(株 ヤマザキライス)

・ **深刻な日本の農薬汚染**⇒輸入小麦から作られるパンから検出されるグリホサート(除草剤)、イチゴに残留するネオニコチノイド(殺虫剤)は深刻である。

こんな状況から脱するには有機農業への転換しかない。日本では有機農家数は全農家の0.5%。有機の食事が6～7日で農薬を体外へ排出したという実験もある。

韓国ソウル市では学校給食を有機農産物へと転換した。有機農業自給国家への転換が生き残る道!と強く結ばれた。

(逆瀬川G 信長たか子)

❖4月食料環境セミナーは、学生センター移転のためお休みです。

## 次回食料環境セミナー

5月26日(水) 14:00～15:30  
「コロナ時代と私たちの暮らし  
神戸学生青年センター移転記念講演」  
神戸大学名誉教授 保田 茂さん

<会の今後についてのお知らせ>

## 橋本慎二さん、慶子さんとの話し合い

出席者＝橋本慎二さん、慶子さん

求める会 飛田、岩本、岡、岡部、小浦

2月21日、学生センターでの兵有研総会を終えられた橋本慎二さん、慶子さんとの会合をもちました。日ごろ慶子さんとは定例会でお会いしますが、慎二さんとはお話をする機会が少なく、今後の事について慎二さんのお考えを聞きたく時間をとっていただきました。

当初、橋本さんは提携相手である求める会の終了を受け入れがたく、何とか継続する方策はないかと思っておられました。これは長い市有研との話し合いの中で私たちも強く感じていました。来年3月で終了と決まった時、色々な活路を考える中で、コープ自然派から「定額100円の野菜を出荷しないか」という申し出があり、昨年後半から小束の野菜を出荷されています。この取り組みは順調に進んでいるようです。今後求める会の方に配送する場合も、高齢化を念頭に小束の出荷の方法でやっていこうと考えられています。すべての野菜を100円にするのは難しい面もあると思いますが、小さな束での出荷という考えは軸にあるように思いました。配送はあしの会のトラックに乗せられます。

コンテナの中身によって小、大を作るか、一定にするか、また、配送を要望に応じて毎週、隔週、月1度に出来るかについては、橋本さんと奥谷さんとの話し合いが継続中です。

細かい話し合いの最後に慎二さんは、これからも社会運動としての提携運動を継続してやっていきたい、その意味でも市有研という組織を継続させたいと述べられました。

(生産者担当・鶴甲団地G 小浦 節子)

---

## 「“おいしいね！”が育てる元気 V」最後の味噌づくり

2月16日(火)、「“おいしいね！”が育てる元気」シリーズ第5回の味噌づくりが行われました。参加費2300円で、申し込み者8名、当日は6名が出席、求める会からは飛田、山崎、茂松、明松、猪飼、岡、岡部、今田が材料の用意と当日のお手伝いをしました。今回で最後の味噌づくりとなりましたが、コロナ感染拡大に留意して、参加者に大変好評だった昼食会は行われず、出来上がった味噌はそれぞれが持ち帰りました。

持ち帰り用に会員担当の明松さんがビンと、それを入れる手作りのトートバッグを用意してくれました。思わぬプレゼントに皆さん、大喜びでした。

ほとんどの参加者がリピーター、そのうちの一人、津田さんは、残り1年足らずですが、求める会の活動に共感して会員となりました。津田さんは、周りに呼びかけて、10



最後にみんなで記念撮影しました

人ほどで味噌づくりを続けるそうです。ほかの参加者も、今後も味噌づくりを続けたいと言っています。味噌づくりをとおして、求める会の理念は十分伝わったのではないのでしょうか。(会員担当・センターG 岡部 真理子、同・西山町G 岡和美)

## 4月のカレンダー



4月14日（水）部会  
4月20日（火）自動引き落とし日  
共同購入申込締切日  
4月21日（水）全体会

❖4月の食料環境セミナーは、学生センター

## 4月全体会議題

- 会の今後について
- 総会資料の検討
- 会員の意向を聞き取る内容の検討

## 今後の全体会と総会について

新型コロナの感染状況により、全体会の中  
止、総会の書面総会への変更などがあるか  
も知れません。ご了承ください。

## 事業部よりお知らせ

事業部の定期申込は3月で終了しまし  
た。長い間ありがとうございました。

渡辺水産の定期配送（3か月ごと）、お  
中元・お歳暮、梅（山本農園）は引き続き  
取り扱いします。

全体会では、渡辺水産（干物）、藤本水  
産（いりこ・じゃこ・えび）、宮島庵（豆  
腐・揚げ）、まるめろ（昆布）、季節の農産  
物などの販売も予定していますので、楽  
しみに毎月全体会にお出かけください。

## センター移転について

神戸学生青年センターは5月に阪急六甲駅  
前の2か所に移転します。






（1）ウエスト100（本館） 駅から西へ  
100m、南側。4階建てのビルで、本部、ホ  
ール、スタジオ、会議室などが入ります。  
（三宮行きホーム西部分の南のビルです）

（2）ノース10 駅から北へ10m。駅  
前ビルの4階で、ホール、スタジオ、会議  
室等が入ります。

現在の場所は2021年4月27日（火）まで  
使用できます。4月28日（水）～5月5日  
（水）は引っ越しのため休館。

## 福島支援の報告

2月に福島の千葉由美さん宛にりんご30  
kgを送り、お礼のメールが届きました。

おはようございます   
昨日、林檎を受け取りました   
帰りが遅く、連絡できなくてごめんなさい   
たくさんいただきありがとうございました❖  
お茶会で使わせていただきますね！  
みんな喜びます   
感謝です 

その後、東日本大震災10年目の今年、ま  
た東北に大きい地震がありました。  
大野さんからお見舞いのメールと、余震の  
備蓄米としてお米をお送りしました。

